

波紋 *Ripple*

発行者：森松株式会社 編集者：小原龍一
小坂美香
松井宣和
伊藤雅典

創刊号：1985年7月

No. 311号

平成23年5月
2011 May.

四川義信公司・呉社長来社



さる3月29日、四川省成都より弊社合弁企業の四川義信文化用品有限公司、呉社長が来社されました。来年で契約期間満了を迎える合弁の継続打ち合せ、恒例の加工メーカー訪問による技術研修、そして日本留学中の御子息が4月より大学へ入学されるということで忙しいスケジュールの合間にささやかながら歓迎会を催させていただきました。これからのより一層の人材交流を通じて、日中相互に発展していきましょう！



「高機能フィルム展見学」

社長 森 直樹



先日東京ビックサイトにて開催された高機能フィルム技術展へ行ってきました。同時開催のFPD（フラットパネルディスプレイ）研究開発製造技術展が第21回、フィルム技術展は第2回ということで、フィルム技術展の展示も液晶テレビを製造する際に必要となる光学フィルム、半導体フィルム、コーティング剤といった展示も多く見られます。実際に森松にて取り扱っているフィルムや製品の中ではこれらのものはまだまだ少ないですが、日本国内での製造業は今後も高機能・高付加価値の製品を生み出していくことは容易に想像できますが、フィルム業界に於いても、そしてそれを流通させていく弊社のような代理店・商社は同様に高く、広くアンテナを張り、新たな市場を開拓し続けていくことが求められているということです。文具・雑貨だけではなく、より幅広い業種に目を向けていくことで森松の持つ加工技術、汎用フィルム素材のノウハウが生かされる場面がより拡大するでしょう。約1ヶ月ぶりの東京でしたが東海道新幹線の品川駅に降りた直後、節電により駅構内の照明がかなり落とされていたのを見て名古屋では見られない光景に改めて震災の影響を強く感じました。また展示会においても出展をキャンセルしたため空き地になっているブースをいくつか見かけました。森松からは自社製品のプラスチック手袋を、少量ですが被災地への支援物資として提供させていただいております。森松グループ・また私個人として可能な限りの支援を今後も行なっていく予定です。

「頑張りがすぎないで…」

吉岡 孝記 (営業部)



東日本大震災が発生し約1ヶ月が経ちました。被災された方お亡くなりになられた方、また家族を失った方心からお悔やみ申し上げます。

福島原発も未だ予断を許されない状況が続き、余震も頻繁に起こり心も身体もぼろぼろではないかと心配しておりますが、報道で気丈に振舞う子供らを見るにつけ涙が出る思いです。テレビでがんばって、がんばってと言われても何をがんばればいいのかと言っていた人がいました。家族をなくし、家はなく、お金もなく、仕事もなく、食べる物も、着るものもなく何をがんばればいいのかどうすればいいのか。被災にあつていない私たちに何が出来るか、考えさせられます。

私自身たいした事はできませんが、募金箱を見ると少しですが寄付させていた程度です。国内外を問わず色々な著名人の方やスポーツ選手や芸能界等々多額の寄付を耳にすると頭が下がります。

地震列島の日本に住んでいる以上地震は避けられません。今、災害にあつていない私たちが逆にがんばらないといけないのではないかと感じます。何もかも自粛するのではなく、少しでも景気を良くするために消費する事も必要だと思えます。さて、東北のお酒でも買いに行きましようか。ただ、最低限の備えだけにしておきましよう。



「日本人は素晴らしい」

伊東 郁二 (特販部)



大地震と津波の怖さが目に焼き付いて落胆している中、「放射能」という目に見えぬ敵と戦いながら、重いホースを手作業で延ばし、必死の覚悟で与えられた任務を遂行した日本のヒーロー「東京消防庁ハイパーレスキュー隊」のニュースを見て、新聞を読んで感動しました。

「一番大変だったことは？」との質問に対し、総括隊長が「隊員：こ」と言って涙ぐむシーン・・・自然に泣けてしまいました。「この場を借りて隊員と家族にお詫びと感謝を申し上げます」と言っていた。上司として、1人の人間としての素晴らしい最高の一言に感動した。「隊員全員の無事」を見届けた隊長としての、安堵感と達成感が伝わってきた。

隊長・隊員も素晴らしいけれど、その家族・奥さんもまた素晴らしいと感じた。「現場に行くことに家族の反応は？」との質問に対し、奥さんには原発がある福島の現場に行くことをメールしたそう。奥さんからは、「信じています」との一言の返事。「日本の救世主になってください」との一行の返事。が、来たそう。

ニュースを見て涙を流し、翌日は新聞を見て涙を流した。映画ではない「感無量の実話」であることに二度感動した。自分ならば、未知の危険がある現場に行くだろうか？行けるであろうか？家族は、そんな場所に行かせるのだろうか？・・・

あの日から、400回以上もの余震が続いている。家が残り、掃除している人は言う。「私達は家が残って幸せだ。家がなくなってしまう人達がほとんどだから・・・」家がなくなってしまう人達は言う。「私達は家族が残って幸せだ。家族がバラバラになつて人達がほとんどだから・・・」家族がバラバラになつた人は言う。「私達は夫婦だけでも残って幸せだ。一人ぼっちになつて人達もたくさんいるから・・・」想像が付かない言葉ばかりだ。

自分が当事者ならどうなつてしまうのだろうか・・・？

まずは、自分も出来ることからひとつずつ支援したいと思えます。

シリコン ^{5°C} 人や環境にやさしい シリコン素材だから安心!

耐震用 シリコン滑り止めシート

ノンスリップエコシート

地震から食器、家具、家電品をガード!



グラス、カップ、食器
などの滑り止めに

ソフト・シリコン ^{5°C} だからくっつく、
滑らない。何回でも洗って使える!



熱に強い!
-70°C ~ 180°C

抗菌効果

- 規格
- 色
- 上代価格

- シリコンは環境や体にもやさしい素材です。燃やしてもダイオキシンは発生しません。鉛、水銀、カドミウム、六価クロム等の有害化学物質は含まれていません。
- 摂氏180°C、-70°Cでも耐えられ、硬くならない熱に強い優れた素材です。

大 1.5mm厚×215mm×430mm ・ 小 1.5mm×215mm×430mm
ナチュラル(半透明) ・ ウッド(木目調)
大 1,890円(税込) ・ 小 987円(税込)

問い合わせ先 森松株式会社 特販部 伊東郁二
TEL:052-612-8972 FAX:052-619-1867

新商品

● 今月の新商品です。ご要望、不明な点があれば、担当者までお問い合わせください。

ソフトザルまな板 問い合わせ先
森松株式会社 企画営業部 牧野光昌
TEL 052161218829

箆ザル ソフトタイプ になる まな板

これ1枚で切って! 洗って! 水切って!

簡易ザルに早変わり

これは便利!

毎日の調理に!

アウトドアに!



<注意事項>

- ご使用の際は平らな安定した場所に置いてください。
- お湯をかける場合は熱湯は避けて60°C以下の温度にしてください。
- 60°C以上の熱い鍋や、やかんなどをのせないでください。
- 包丁が強くあたると切断することがありますので硬い物を切る場合は注意してください。
- すべりやすい食材を扱う時は注意してご使用ください。
- コンロや火のそばなどの高温になる場所に置かないでください。
- たわし、磨き粉などでみがくと傷がつく場合がありますのでご注意ください。
- 本来の調理目的以外には使用しないでください。

商品名: ソフトザルまな板 材質: ポリプロピレン
寸法: (約) 220mm×310mm 耐熱温度: 60°C

<お手入れ方法について>

- ご使用前にまな板全体を水で濡らしておくことで汚れなどがつきにくくなり、後のお手入れが簡単になります。
- ご使用後はなるべく早く食器洗い用洗剤で汚れを落とし、水気を拭き取って乾かしてください。
- 臭いが気になった場合は食器用(塩素系)漂白剤をご使用ください。
- お使いにならない時は日光に当てたり、できるだけ風通しのよい場所に保管してください。



MADE IN JAPAN

PAT.P

製造元
森松株式会社
www.morimatsu.net
名古屋市南区丹後通5丁目18番地
TEL 052-612-8831

休業日

大和田夕美さん誕生日

憲法記念日

みどりの日

日のもい

休業日

第1土曜日休み

松井えり子さん誕生日

第2土曜日休み(休業実施日)

西垣浩司さん誕生日

第3土曜日休み(休業実施日)

CS 向上会議
15時～16時

16時10分～17時

生産会議
18時～19時

阿部かあるさん誕生日

伊藤雅典さん誕生日

第4土曜日休み

העובדה

松井 宣和（製造部）



東北地方太平洋沖地震からもうすぐ1ヶ月。まずは、被災された方、そしてそのご家族の皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。私も地震当日には社内（名古屋市）におり、一階作業場内には各機械の稼働音のなか、いつもつけているラジオから緊急地震速報（NHK）の非常チャイムが流れてきました。とっさに作業の手を止めて、やばい揺れてきたらどこに身を隠そうか？さらにラジオからのアナウンスで「強い揺れに注意して下さい」と、ビビリ症の私にはきついアナウンスでした。実際揺れ始めのたので慌てて表に出て、外に非難したのは、私を含め3人だけでした。「少なッ!!」しばらく私をして作業場に戻ると、パートさんに「私を置いて一人で逃げたでしょう」と突っ込まれる始末で面目ないです。

緊急地震情報は、P波と呼ばれる小さな揺れが来て、後にS波の大きな揺れがきます。P波を予測して最大震度5弱以上の強い揺れが予測された場合、発表があるそうです。（誤差プラマイナス1ほど）緊急チャイムを聞いたら強い揺れが来るまで、わずかな時間しかありません。これから身を守ることを一番に、落ち着いて行動したいものです。

今回の地震は、東海・南海・東南海地震の発生が叫ばれている地域に住む者として、決して人ごとではありません。

もう一度、地震対策の確認をしたいものです。

